



あとは待つだけ！ 上サ・スケート場の準備作業

12月16日(日)、県内唯一の天然スケートリンクとなる上サ・スケート場（西平地内）のオープン準備が行われました。手づくりのスケートリンクは、毎年この時期に体育協会スケート部を中心に、スポーツ推進委員、スポーツ協力員、地元消防団、学校関係者などが協力して設営されます。早朝から角材や水を貯めるための巨大ビニールシート（横57m、縦27m）を広げるなどの準備を行い、最後に消防団による水入れが行われて天然のリンクが完成しました。その後1月2日(水)にオープンし、現在はスケートを楽しむお客さんと賑わっています。上サ・スケート場は2月上旬まで営業予定です。



1 ビニールシートを引く作業が一番大人数で大掛かりです。2 消防団が水を入れて準備完了！

写真説明

伝統ある和の楽器を奏でる 玉川小学校の名物、「箏」の授業

12月10日(月)、玉川小学校の5年生と6年生が、例年実施している『箏の体験学習』を行いました。

授業では、ゲストティーチャーの「アンサンブル箏音」の皆さんによる演奏のあと、箏爪の使い方などを学び、グループに分かれて「さくら さくら」の運指の練習をしました。

初めて箏に触れた5年生は珍しげに演奏を聴き、演奏に挑戦していました。一方、6年生は授業が始まる前から「七、七、八～」とのつぶやき。1年前の体験をよく覚えているようで、慣れるのも早く、すぐに綺麗な音色を音楽室に響き渡らせていました。



1 人気のアニメソングも、箏で奏でると、雰囲気が変わり、6年生はみんなじっと聴き入っていました。2 ゲストティーチャーの手元に、5年生児童の目は釘づけです。3 「次は、私の番!!」うまく演奏できるかな。

写真説明

学んで体験して炭の大収穫！ チャレンジスクールで炭作り

せせらぎチャレンジスクールでは、毎月1回（全10回）様々な活動を行っております。6・7回目となる今回は、どんぐり山を守る実行委員会にご指導をいただき、炭作りの体験を行いました。

11月30日(金)には、窯入れ作業。窯に入れたものは何でも炭になるため、炭となる木材のほか、どんぐりやおぼずき、松ぼっくりなどを入れた宝箱も一緒に窯に入れました。

そして12月14日(金)に窯出しを行いました。日常生活では見慣れない巨大な炭や、どんぐりなどがそのまま炭になる様子を見て、参加者は歓声をあげていました。完成した炭は、参加者の皆さんのおみやげとなり、持ち帰りました。



クリスマス仕様！



1 説明を熱心に聞く参加者の皆さん。2 木材を窯に入れるのは重労働です。3 みごとな炭ができました！4 松ぼっくりやどんぐりもご覧のとおり、つややかな炭に変身！

写真説明

第5回「一ト市川浄化大作戦」 が行われました

11月24日(土)、河川の水質改善を目的として、大字玉川地内の「一ト市川」に整備された、木炭を使用した簡易浄化施設の木炭取り換え作業を行いました。木炭の多孔質な特性を生かして、汚れを吸着し、微生物による分解作用が期待できます。作業は、「一ト市川」周辺の住民と、NPO「もりんど」、都幾川遊歩道の会と町が協力して行いました。作業中は、顔に泥がつくこともありましたが、参加者全員が、少しでも川がきれいになることを願い、協力しあいながら実施することができました。



1 木炭入れ替え作業中です。2 作業実施後、木炭が設置されました。3 作業後の参加者全員です。

写真説明